

令和8年度 学校経営計画書

石川県立工業高等学校

学校長 蓮本 英樹

1 教育目標

- ① 工業技術者としての誇りと高い倫理観を持ち、AI時代を切り拓く創造力と実践力を兼ね備えた人間を育成する。
- ② 自己の行動に責任を持ち、多様な価値観を尊重し、自他共にウェルビーイングを追求できる人間を育成する。
- ③ たくましい身体と健全な精神を堅持し、変化の激しい社会において困難に立ち向かい、自ら道を切り拓く人間を育成する。
- ④ 郷土石川の自然や伝統文化を継承・発展させ、技術の力で地域社会に貢献できる人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 国内有数の歴史と伝統を有し、本県工業教育の中心校として産業界を支える人材を輩出している。
- ② 伝統技能の継承に加え、生成AIやDX等の先端技術を使いこなし、社会課題を解決する力の育成が急務である。
- ③ 少子化と普通科志向の中で、「AI時代こそ、手に技術を持つ工業高校が最強である」という価値観を戦略的に発信し、志願者を確保する必要がある。
- ④ 地元企業との強固な連携によるキャリア教育と、高度な専門性を活かした進学指導の両輪を深化させる。
- ⑤ 自然災害等に対する危機管理体制及び防災教育の充実による安全・安心な学校づくりの強化が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 「技能のDX」を推進し、安全管理を含めた高い規範意識を持ち、新時代の技術者としての基礎技能と、現場での実践力を育む。
- ② コミュニケーション能力を発揮し、チーム学校・チーム社会の一員として協働的に課題に挑戦する姿勢を身に付ける。
- ③ 生涯にわたり学び続ける基盤として、心身の健康をセルフマネジメントでき、社会に新たな価値を「創造」する人間力を高める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学科・学年・部活動の垣根を越えたオープンな組織文化を醸成し、全校一丸となった指導体制を構築する。
- ② 地域・産業界との共創を通じて、教職員自身が常に最新の技術と社会動向に触れる機会を確保する。
- ③ 1人1台端末および校務効率化ツールを徹底活用し、生徒の主体的な学びと、教員の創造的な指導時間を創出する。
- ④ 「教職員の幸せが生徒の幸せに直結する」という認識の下、活力に満ちたウェルビーイングな職場環境を構築する。

3 今年度の重点目標

- ① 1人1台端末の活用を深化させ、AIを道具として使いこなす主体的・対話的で深い学びを実現し、実社会で通用する課題解決能力を育成する。
- ② 規律遵守に加え、「県工生としての矜持」を認識する取り組みを通じ、社会から信頼される安全管理を含めた高い規範意識を育成する。
- ③ 専門的技術の向上、高度資格取得、各種コンテストへの挑戦を支援し、「AIに代替されない高度技能者」としての自信を確立させる。
- ④ 学校行事や部活動、ボランティア活動を通じ、多様な他者と協働する喜びを体感させ、豊かな人間性と社会性を培う。
- ⑤ 伝統ある本校の魅力と「工業教育の未来価値」を、SNSやWebメディアを通じて戦略的に発信し、中学生・保護者・地域へのブランド力を強化する。
- ⑥ 職員間のコミュニケーションを活性化し、業務精選と効率化を組織的に進め、教職員が笑顔で教育に専念できる環境を実現する。